

「全国に誇れる御成門中学校を創る」－世界に発信する－



御成門だより

令和2年10月5日 発行
第 6 号
発行責任者
港区立御成門中学校
校長 佐藤 太

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」

〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-ky.ed.jp



『今年の葵祭と昔のあおい祭』

校長 佐藤 太

空高く清々しい季節、10月となりました。先週で中間考査も終了し、10月の最終日31日（土）は、葵祭（あおいさい）を迎えます。コロナの影響で運動会とは異なり3種目だけの団体競技ですが、私は、今年度初めて全校で取り組む、この学校行事をとっても楽しみにしています。

葵祭の名前は、実行委員会の3年生の発案で、この行事にふさわしい名前を話し合っ決めてくれました。とてもいい名前です。葵は、御成門中の校章の葉で、学校のシンボルですし、葵の花言葉は「豊かな実り、優しさ、大きな望み」です。この葵祭に向けて、皆さんの思いやエネルギーを重ね合わせ、仲間と共に豊かな実りにつなげ、多くの達成感を得てほしいと思います。

もともと御成門中の葵の校章は、開校当時に生徒自身が作ったものです。全校生徒から校章を募集した中で、伸び栄えた徳川幕府の葵の家紋をヒントに構想を広げてデザインした生徒の作品が選ばれたのです。そして、御成門中のシンボル・葵には、歴代の先輩達が、時々の学校行事にかけた思いやエネルギー、自分達で学校生活を創ってきたスピリッツと歴史が刻まれているように思います。

実際、昔の御成門中には、学校ができた開校当時から15年間、ひらがなで表わした「あおい祭」という学校行事がありました。生徒の創作劇やクラス合唱、展示を発表する文化祭を「あおい祭」と呼び、生徒の手で運営されていたと資料にあります。あおい祭は、その後、合唱コンクールと展示会という2つの行事に分かれて、“あおい”の名前は無くなり、今の御成門中の学校行事につながっていくのです。

当時の生徒会誌「おなりもん」に書かれていた生徒達のあおい祭の文を紹介します。1人目は、「私達の生きがいあおい祭。一段々涼しくなると、学校全体がイソイソとしてくる。いよいよ、あおい祭が近づいてきた！というように学校全体があおい祭一色に塗りつぶされる。一人一人の胸に期待と興奮が押し寄せて“やる気”を起こさせる。“一つのことをやり遂げた”という充実感が今でも私の胸に焼き付いている。」とあります。2人目は、「卒業を間際に控え、思い出を振り返ると、あおい祭が強く印象に残っている。あおい祭で欠かせないのが合唱コンクールの部である。このコンクールで優勝したクラスの喜びは大きいですが、出来なかったクラスは悔しさで一杯だろう。これは考えものだ。では順位をつけない形にすると、優勝という目的がなくなって練習もろくにしなくなり、せつかくのクラスの団結する機会がなくなってしまふ。…あおい祭は生徒が参加するもので、優劣をつけるためのものではない。協力し、楽しく過ごすものである。これからもあおい祭を3年間の学校生活の思い出になるものにしてほしい。」と綴られています。

さて、時代が移り、今年の葵祭は、体育的な行事となりました。スポーツの秋に絶好の学校行事です。そう言えば1964年の東京オリンピックも10月に開会式を行っています。そもそもオリンピックは、古代ギリシアのエリスという国王が、長く続いた戦争や感染症の流行に困り果て、神に祈願していた時に、神から「人々が集う競技会を開催せよ」というお告げを受けて、万能神ゼウスに捧げるために行った体育や芸術の祭典が始まりです。どこか、コロナ禍での葵祭もオリンピックの起源と似ていると思えますが、今回、葵祭を通して、学校行事の意味やその大切さについて、皆さんも原点に戻って考えてみてください。そして、安全に注意しながらも、全校生徒の力で、今年の御成門中の歴史を刻んでほしいと思います。

【開校記念日（9月16日）】

昭和44年4月に開校した御成門中学校は、開校記念式・新校舎落成式典校旗推戴式を開催した9月16日を開校記念日としています。この日の給食は、お祝いメニューとして、赤飯・鯛の味噌焼き・「祝」の文字が描かれたナルトを入れたすまし汁・和風サラダ・グランベリージュースの紅白ゼリーでした。また、本校PTAから全生徒と教職員に祝菓子が贈られました。



【道徳授業地区公開講座（9月16日）】

全学級での道徳公開授業と全体協議会を行いました。1年生は向上心・個性の伸長を主題とした「トマトとメロン（相田みつを）」、2年生はよりよい学校生活・集団生活の充実を主題とした「仕事のやりがってなんだろう？（NHK For school）」、3年生は生命の尊さを主題とした「臓器ドナー」の各教材を使用しました。また、校内研究として取り組んでいるICT機器（タブレット端末）を活用した授業をしました。当日は、地域の方にもご参観いただき、協議会にも参加していただきました。



【一次救命処置講習会（9月19日）】

東京慈恵会医科大学から110個の救急救命講習キット（あっぱくん）をお借りして、一次救命処置講習会を行いました。学年ごとに1時間ずつ、胸骨圧迫実技演習とAEDについて、佐藤養護教諭と保健体育科堀内・岩谷教諭が講師役となり学習を進めました。心臓突然死は、「いつでもどこでもだれにでも」起こりえることで、毎年7万人の方が亡くなっているとのことです。心停止から1分ごとに致死の確率が10%ずつ上昇してしまうことや、救急車の要請をしてから到着までには平均約8分かかるため、多くの人が一次救命処置をできることが重要であることなどを学びました。

本校は、体育館（地下2階）、プール（地下1階）、校庭と3階フロアの計4ヶ所にAEDを設置してあります。



【部活動の結果】

○水泳部 東京都特別水泳大会 原 里央さん
50m平泳ぎ第4位・100m平泳ぎ第5位

○野球部 新人大会（第一ブロック予選）
御成門中・高松中合同チーム 1回戦惜敗

○ソフトテニス部 新人大会（港区予選）

個人戦（ダブルス）

準優勝 柴田涼太くん・石井陽親くんペア（都大会出場）

第3位 野田凱斗くん・千住幸輝くんペア

第3位 佐々木莉都さん・熊田あゆさんペア

団体戦

男子：優勝 女子：準優勝

男女ともに都大会出場！

令和3年度入学生対象 学校公開・学校説明会

○10月10日（土）

①学校公開（8:40～10:20）[各教室・体育館・校庭]
・8:30～受付開始[受付:1階玄関]

②学校説明会 11:00～12:00[5階視聴覚室]
・10:30～受付開始[受付:5階ホール]

・10:45～学校紹介ビデオ上映[5階視聴覚室]

*感染症対策のため、マスクの着用、玄関前での検温と手指の消毒をご協力願います。

【10月の予定】

1日（木）中間考査（理・社・数）

2日（金）中間考査（英・国）、専門委員会

3日（土）休業日 [英語検定（一次）]

5日（月）中央委員会

6日（火）避難訓練

9日（金）御成門小6年生体験入学

10日（土）土曜授業日、学校公開・学校説明会

12日（月）全校朝礼

13日（火）午後：進路説明会（3年）

16日（金）生徒役員選挙

17日（土）休業日 [数学検定]

19日（月）専門委員会

20日（火）中央委員会

22日（木）体育的行事練習始

23日（金）漢字検定

25日（月）生徒朝礼

27日（火）体育的行事予行

28日（水）体育的行事予行予備日

30日（金）体育的行事準備

31日（土）体育的行事（11/2振替休業日）

